

本リリースは、金融記者クラブで配布しています。

(本リリースは、米国東部時間2007年6月11日に米国で発表されたプレスリリースの日本語要約版です)

参考【プレスリリース】

## 米国ハートフォード、役員人事を発表

### 生命保険事業部門トップのトーマス M マーラを 社長兼最高業務責任者(COO)に任命

[東京 2007年6月14日]

米国の大手保険および金融サービス会社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービス・グループ・インク (NYSE:HIG、以下「ハートフォード」) は、本日、ハートフォードの生命保険事業部門の社長兼最高業務責任者であるトーマス M マーラをハートフォードの社長兼最高業務責任者 (COO) に任命すると発表しました。この新たな職務においてマーラは、ハートフォードの損害保険事業部門と生命保険事業部門を統括することになります。

マーラは、1980年に入社して以来、ハートフォードの生命保険事業部門の成長や事業の拡大に多大な貢献を果たしてきました。なお、ハートフォードの会長兼最高経営責任者は、引き続きラマニ・アイアーが務めることになります。

ハートフォードの会長兼最高経営責任者であるラマニ・アイアーは次のように述べています。「マーラは、保険数理人としてそのキャリアをスタートさせて以来、我々の業界地位も着実に向上し、四半世紀以上に亘って社員からの尊敬と優れた成功をもたらしてきました。業界におけるリーダーとして彼は成長し、経営層に対して常に刺激を与えてきました。また新しい事業の構築においては、高いビジョンを掲げ、成功裡に導いてきました。マーラは、私の良きパートナーとして、事業をうまく導いてくれることでしょう」。

マーラのハートフォードの社長兼最高業務責任者 (COO) 就任に伴い、米国ウェルス・マネジメント総括総責任者のジョン C ウォルターズと、インターナショナル・ウェルス・マネジメント & グループ・ベネフィット統括総責任者のリザベス H ズラトカスが、本日付でハートフォードの生命保険事業部門の共同最高業務責任者に就任します。なお、ウォルターズとズラトカスは、引き続きマーラに直接レポートします。

ハートフォードの日本法人であるハートフォード生命保険株式会社 (以下「ハートフォード生命」) は、今後もハートフォードの生命保険事業部門内のインターナショナル・ウェルス・マネジメント & グループ・ベネフィットに所属することになります。ハートフォード生命は、ハートフォードの国際事業分野における成功モデルであり、今回の役員人事は、日本のビジネスの重要度が更に高まったことを反映したものでもあります。

## ハートフォードについて

フォーチュン 100 社の 1 社であるザ・ハートフォード・ファイナンシャル・サービシズ・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所取引コード: HIG、以下「ハートフォード」）は、米国で最も由緒ある大手保険および金融サービス会社の 1 つであり、ミューチュアル・ファンドを含む投資金融商品をはじめ、各種生命保険、団体年金、団体生命保険、自動車保険、住宅保険、法人向け損害保険などを提供しています。2006 年における収入は約 265 億ドルに達しています。ハートフォードは、日本、ブラジル、英国で国際事業を展開しています。ハートフォードに関する詳細な情報についてはウェブサイト（[www.thehartford.com](http://www.thehartford.com)）をご覧ください。ハートフォード生命保険株式会社は、ハートフォードの日本法人です。

また、本リリースには、米国 1995 年私募証券訴訟改正法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において定義されている将来の見通しに関する情報が含まれています。投資家の皆様にはこのような将来の見通しに関する情報が、当社の将来の業績を保証するものではなく、また実際の業績は大きく異なる可能性があることをご了解願います。また投資家の皆様におかれましては、当該リスクおよび不確定要素は将来の当社業績に影響を及ぼす可能性があることをご理解いただきたいと思ひます。このような重要なリスクおよび不確定要素には、米国証券取引法により報告が義務付けられている四半期の報告書(10-Q)や 2006 年の年次報告書(10-K)に記載されている項目が含まれます。また、当社では、本リリース発表後にその内容を更新する義務を負いません。

<この件に関するお問い合わせ先>  
ハートフォード生命保険株式会社  
調査広報部広報ユニット  
白土朋之 電話: 03-5777-8000